

## 3.11 みんなのきろく みやぎのきろく

もうすぐ東日本大震災から10年を迎えます。

東京電力福島第一原発事故による被害の全体像や加害責任の所在が、未だあいまいなまま、宮城県では再び原発が再稼動されようとしています。

原発事故の教訓とは、何だったのでしょうか。

あの経験を、過去のことにしない、他人事にしない、なかったことにしないために、

事実を記録し、次の世代につなぐという、今の私たちにできること。

あの日から、私たちの暮らしと子供たちを守るために、原発事故に向き合ってきた市民の活動を、1冊の記録集にまとめました。

### I. 概要

東日本大震災発生時の宮城県の様子と、福島原発事故後の放射能汚染状況について、国や県などが公表してきたデータや資料をもとに、概観しています。

### II. 市民の記録

1. 活動編・・・原発事故後に各地で動き出した市民グループの活動の中で、主に自主的な測定活動や行政への要請活動などの記録をまとめています。

2. データ編・・・県内の放射能汚染状況を知るために、市民の間で自主的に立ち上げられた放射線測定室の活動内容と主な測定結果についてまとめています。

3. 健康編・・・原発事故後に市民が取り組んだ被ばく防護に関する活動や、その後の自主的な健康調査活動の概要と現状についてまとめています。

### III. 資料

原発事故後、翌年までに各地の市民グループが提出した主な要望書や請願書など、当時の状況がわかる資料を掲載しています。



《ご注文・お問い合わせ先》

「市民の記録」編集委員会

・電話でのご注文：080-3144-8663

・メールでのご注文：miyaginokiroku@gmail.com

3.11

みんなのきろく  
みやぎのきろく



—原発事故に向き合う市民の記録集—

2020年11月発行  
定価 800円

《送料について》

1冊 300円

2冊 370円

3冊 520円

4冊 600円

5冊以上 無料

冊子送付時に、振込用紙を同封致します。